

少年自然の家でできること

焼き杉

森を歩いていると、様々な自然の落し物に出会います。自然観察をしながらその落し物を集めます。いろんな形や自然の不思議さを発見することもあるでしょう。

杉板をバーナーで焼くと、木目が浮き出てやさしい木肌の風合いが出てきます。そんな感触も楽しみながら木の実や枝を貼り付けたり、絵や文字を書き添えて作品を作ります。

1. 準備物

少年自然の家にあるもの	杉板、ガスバーナー、ホットボンド、ひも、ヒートン、たわし、ぼろ布、工具（ラジオペンチ、きりなど）
準備していただくもの	軍手、木の実、絵の具（必要であれば）、ポスカ（必要であれば） ※季節・その年の気候によって採集できる量や種類が異なります。

2. 場所と時間

自然の家 “ふれあいの森”	30分～1時間
“創作室” および “体育館下ピロティ”	1～2時間

3. 費用

大 360 円 中 310 円 小 260 円

4. 指導について

自主活動ですので職員の指導は行いません。ただし、ガスバーナーのプレヒートは自然の家職員が行います。

5. 方法・進め方

- ① ふれあいの森をゆっくり散策しながら木の実などを拾う。
※木に実っているものをむやみに取らないこと。
- ② 体育館下ピロティにてガスバーナーの使い方の説明をして、杉板を焼く。
※注意 バーナー1台につき、引率者1名が安全監視を行ってください。
- ③ 水を付けて手に炭がつかなくなるまでたわしでこする。
※こすりすぎると風合いがなくなります。
- ④ ぼろ布で水分をふき取る。
- ⑤ ヒートン、ひもを取り付け、木の実や枝を貼り付ける。
- ⑥ 絵の具やポスカを用意した場合、絵や文字を描く。

